

# 夏こそ大切!PDCAの習慣化 スタディプランを立てよう

ここ3ヶ月を見てもきちんとPDCAを実践している生徒さんは、着実に成績をUPさせています。これに対し、計画をまったく立てていない生徒さんは、なかなか成績の向上が見られません。答えは、明白ですね。

保護者様との面談の中で特に気づいたこと。それは「**計画を立てることは大切だと思うけれども、具体的な書き方がわからない**」ということです。どうすれば、PDCAの習慣化ができるのでしょうか？

**子ども任せにしない。→PDCA習慣化には保護者のサポートが必要です。**

## PDCAの実践→習慣化

全人類共通の財産とは？ → 1日24時間

- 1) Plan…2週間分のデイリープラン(起床から就寝まで何をするか)を立てる。
- 2) Do…計画表に沿って実践する。
- 3) Check…就寝前に1日の反省をする。本人のコメントと共に保護者のチェックが必要。
- 4) Action…前週のチェックを活かして、問題点を克服する。

提出されるスタディプランを見てわかることですが、毎週きちんとPDCAを実践しているのはお子さんだけでなく、**保護者の力**が大きいです。立案から、毎日のチェック、反省(主に「ほめ言葉」)に至るまで**保護者のサポート**がなされています。

「仕事が忙しくてそこまで手が回らない」「そんなことは塾でやってもらって」……「勉強しなさい」「宿題やったの」「テストの点は？」と言うだけで、具体的なサポートを忘れていませんか？PDCA習慣化は、大人でもなかなかできません。ましてや子どもに丸投げでは、まず不可能です。

- ① 保護者様のお仕事が忙しければ忙しいほど、**時間を決めて**お子様のPDCA習慣化のサポートをお願いします。10分でOKです。「**時間がないから宿題ができない**」と言う子は、「**時間があってもできない**」子ですと以前言いました。同じことが保護者様にも言えます。サポートの時間を作って下さい。
- ② 必ず「**ほめ言葉**」から入ってください。つまり、「**できた!**」を「**ほめる**」のです。そうすれば、お子様の自己肯定感が増し、ヤル気も出ます。「ダメ!」「当たり前だろ」は禁句です。前より少しでもできたことは、その都度具体的にほめて下さい。
- ③ 計画は具体的に**数値化**しましょう。成績UPが著しいお子さんほど、目標設定が数値化されており、具体的です。例えば、前回の算数〇〇テストは△△満点中、□□点だった。次回は各プラス5点を目標としたい。

2018  
11月NOV

今週の目標  
○ H30岡白白過去問で70点を取る。  
× 算数をがんばる。

Sunday	11/11	Monday	12	Tuesday	13	Wednesday	14	Thursday	15
県立高校入試まで後	116	県立高校入試まで後	115	県立高校入試まで後	114	県立高校入試まで後	113	県立高校入試まで後	112
6	起床	6		6		6		6	
7		7		7		7		7	
8		8		8		8		8	
9		9		9		9		9	
10	算数H30岡白白	10		10		10		10	
11	理科H30岡白白	11		11		11		11	
12	食事	12		12		12		12	
13	国語H30岡白白	13		13		13		13	
17	TV...録画したもの	17		17		17		17	
18	夕食	18		18		18		18	
19	塾...算数	19		19		19		19	
20	塾...国語	20		20		20		20	
21	入浴	21		21		21		21	
22	ゲーム30分	22		22		22		22	
23	宿題チェック 翌日の準備	23		23		23		23	

テレビもゲームも一方的に禁止するのではなく、**時間を決めてやりましょう**。また、**読書の時間も1日30分は確保**して下さい。

23	就寝	23		23		23		23	
24		24		24		24		24	
□		□		□		□		□	
□		□		□		□		□	
□		□		□		□		□	
□		□		□		□		□	

塾学習:	120分	塾学習:	分	塾学習:	分	塾学習:	分	塾学習:	分
自宅学習:	300分	自宅学習:	分	自宅学習:	分	自宅学習:	分	自宅学習:	分
1日の振り返り		1日の振り返り		1日の振り返り		1日の振り返り		1日の振り返り	
算数過去問60点									
国語70点									
理科65点									
目標まであと10点									

その日にできたこととできなかったことも**数値化**してください。具体的な反省こそ明日への糧です。  
振り返り

本人が1週間を振り返って、達成点と問題点を記入します。どちらも何がどれだけできたのか、何のどこが問題なのかを具体的に記入します。

- 達成点...①90%予定通りに進んだ。②国語で目標点を達成した。  
問題点...①ゲームに夢中になって予定時間を30分オーバーした。  
②数学の過去問であと10点不足した。
- × 達成点...がんばれた。  
問題点...目標に達しない教科があった。

コメント

入試は、生徒と保護者の二人三脚です。保護者の励ましの言葉が生徒のモチベーションをアップさせます。達成点を指摘して具体的にほめましょう。

- 水曜日は塾で遅くなったのに12時までやり通しましたね。母さんのほうが先に寝てしまってごめんね。
- × よくがんばりました。

一週間の反省もできるだけ具体的に書きましょう。※裏へ

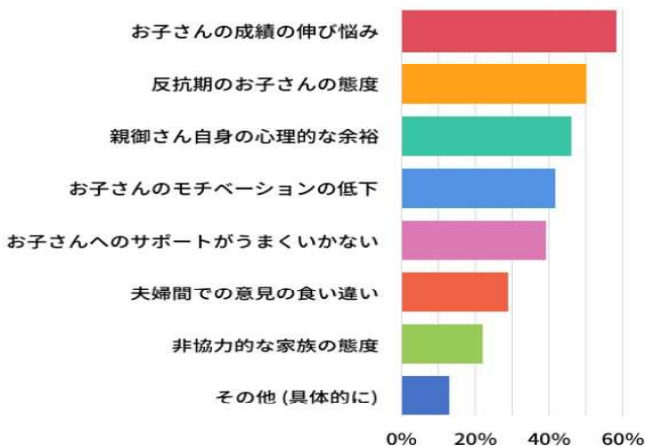
# 小6：受験メインのプランを

直近の中入試まで150日を切りました。コロナの第2波感染が懸念される場所ですが、この時期は、**目標設定と過去問演習を軸とした弱点对策の習慣化**こそが最優先課題です。

一方、各中学の令和3年度入試要項が発表され、第一志望合格までの道のりがますます現実味をおびて来ています。この時期になると、志望校と実際の成績のギャップや焦りから、保護者様・お子様双方にいろいろなストレスが起こりがちです。

以下は、ある民間調査機関の受験に関する悩み事のアンケート結果です。

**Q:親御さんのストレスや悩みの種になってしまうのはどのようなことですか?(複数可)**



## ※その他

- 第一志望校が具体的ではないので、勉強への目標がたてにくい。
- やる気が感じられないのに、受験を続けるという姿勢。
- 本当に中学受験をすることが良いかどうか迷う
- 夫が短気で、中途半端に口を出す。偏差値ばかり見て判断する。
- 他の子と色々と比較してしまう。
- 家庭学習環境時の、下の子の行動やお世話
- 子どもが主体的になれるよう上手く誘導できないこと
- 時間管理・スケジュール管理
- 塾代や学費など、今後かさんでくる金銭面の不安
- フルタイム共働きの夫婦のため、子どもが自宅学習している時、進捗状況をチェックできないこと。
- 祖父母の勝手な口出し
- 習い事との両立、やめ時に関して

**Q:今までで、お子さんとの接し方で失敗したなど感じたことを教えてください。(自由記述)**

- 「宿題したの?」「もっと勉強の量を増やしたら?」といふ勉強の事ばかりを口にしてしまった事。
- 頑張っていないと言ってしまい子供がいじけてしまった。
- 叱るつもりが、ストレス爆発で長時間の説教に。時間が足りないくらいなのに悪循環。
- 子供が勉強しないと、つい感情的に怒ってしまう。
- やる気がない子に厳しい言葉は発してしまった時

■子どもからどうしても中学受験がしたいと頼み込まれて、受験勉強を始めたのに、やる気が見られない時に、もう辞めたらとか、地元の中に行けば!と言い放ってしまうこと。

■ファイリングなど、子供にさせようとしたこと。これは、最初から無理だと思って親がすべき、と最近知りました。

■失敗を許さない態度で接していたため、間違いを指摘すると怒り狂い、話を聞いてもらえない。

■本人は努力しているが結果がなかなか出ない時に、否定するような言葉を投げつけてしまったこと。

■テストの結果が悪かった時についきつい言葉をかけてしまい、その後しばらく子供が落ち込んでしまい成績が落ちてしまったこと

■計画したことをやらなかったときにきつく怒ってしまったこと。どうしても大人目線で考えてしまい、まだ小学生だということを忘れてしまう。

■テレビ大好きな子に育ててしまった。

**8/1(土)～8/7(金)いよいよ  
2021年受験用**

**過去問DVD配布スタート**

**※同時配布 学校・年度別**

**算数・理科入試問題合格カード**

## 保護者面談・三者面談受付中

受験までのカウントダウンが進むにつれ、不安や焦りも予想以上に増していきます。どうしたら、不安や焦りを感じずに合格必勝の勉強スタイルができていくのでしょうか。長年の経験を基に、これから4ヶ月あまりの合格プランの立て方と必勝法をお話します。

また、岡山県内外の中学入試問題5～10年分を収集した「過去問DVD」の無料配布(塾生のみ)いたします。同時に過去問の活用法についてもご説明します。忙しい折ではございますが、奮ってご申し込みいただきますようお願いいたします。

お申し込みは、生徒様のお名前をご記入の上、**メール**([info@sola-e.net](mailto:info@sola-e.net))か**FAX**(086-255-5402) **24H受付**で。お申し込みはお早めに。

## 千原顕勝くん(灘中3年)

### 8大会連続!決勝大会進出

四谷大塚小・中学生全国統一テスト

**おめでとうございます!**

2020年6月に行われた四谷大塚小・中学生全国統一中学生テストにおいて、当塾生の千原顕勝くん(灘中3年)が、小511月の大会から連続8回目の決勝大会進出を決めました。昨今のコロナの影響で残念ながら決勝戦は中止となりましたが、参加者全員にサーフェス最新パソコンが進呈されました。